

### いしかわ自然マップ 石川県内の 主なブナ林 をマッピング！



### いしかわのブナ林

石川県では白山にまとまったブナ林がありますが、標高の低い所にも小さなブナの林が県内各地にあります。能登半島には高い山はありませんが、宝立山などの山頂付近に少しずつブナ林があります。昔、石川県では広くブナ林があったと考えられています。点在して遺る低地のブナ林は、昔の面影を今に伝える貴重なブナ林です。

#### ① 【三国山のブナ林】



御山(おやま)神社社叢のブナ林 (写真提供：松島浩氏)

加賀、越中、能登の三国に接する峠にまたがる三国山は標高323.6mの低山です。御山神社の社叢にブナの原生林があります。県内のブナ林は標高700～1,500mに広く分布しますが、三国山では標高240mの低地にブナ林が分布します。寒冷期に平地で優占していたブナ林が残存したとされています。



三国山登山口の大鳥居。  
三国山の頂上まで約20分。  
(写真提供：松島浩氏)

左：御山神社  
(写真提供：松島浩氏)

## ②【石動山のブナ林】



左：能登では最も広い石動山のブナ林  
上：チャボガヤなどが林内に生え、標高の高い白山などのブナ林とは様子が違う。

石動山は標高565mと高い山ではありませんが、能登では最も広いブナ林がみられます。史跡も多いので、ブナ林散策と史跡巡りを楽しむことができます。植生学的にみると、白山の代表的なブナ林は「チシマザサ-ブナ群集」に区分され、アカイタヤ・ムラサキヤシオ・ミネカエデが標徴種(植生を特徴づける種)です。石動山のような低地ブナ林は「クロモジ-ブナ群集」に区分されるブナ林で、標徴種はムラサキマユミ・フウリンウメモドキ・チャボガヤです。どちらの群集もブナ林ですが、一緒に生育する植物種が違うので、林の雰囲気異なります。

## ③ - 1【高州山のブナ林】



高州山は標高567mで奥能登丘陵では最高峰ですが、高い山ではありません。山頂にブナ林がみられます。神域としてブナが守られ、幹回りの大きな立派なブナの木が遺されてきました。

左：高州山山頂には高州山神社の奥院があり、一帯にブナ林が広がる。



鉢伏山の登山口。この登山道沿いにはブナはあまり残ってないが、ブナの若木が植栽されている。

## ③ - 2【鉢伏山のブナ林】

鉢伏山は標高543.6m。高州山とともに古くから霊山として崇められています。1940年代よりブナの伐採が進んだため、周辺の林道付近のみにブナ林が遺っています。

さあ、いしかわのブナ林にいきましょう！ (執筆 中野真理子)